

KAZE



令和6年度 八尾小学校 学校だより

3月号 3月15日発行



## りゅうばんのきずな

## 一歩、そしてまた一歩

校長 西 村 護

早いもので、令和6年度も、残りわずかとなりました。振り返ってみると、あっという間の1年でした。慌ただしい中でも、目指すべき方向を見失わないように意識してきたのが学校教育目標です。今年度の学校教育目標は、「いきいき にこにこ 八尾っ子」。キーワードとして、「笑う」「話す」「行動する」を掲げました。みんな笑顔で過ごせているか考えてみる、困った時はみんなで意見を出し合い話し合ってみる、迷った時はあれこれ考え過ぎずとりあえず行動に移してみる。三つのキーワードに立ち帰ることで、やるべきことがはっきりします。そうすることで、いきいきと学校生活を楽しむ姿を増やし、八尾小学校全体に笑顔が広がってほしいと願いながら、取り組んできました。

学校だより2月号でお伝えした学校評価アンケートの結果からも分かるように、「優しい言葉遣いや思いやりのある行動を心がけている」「人と仲良くすることができている」と回答した子供が増えています。それに併せて、子供たち同士のトラブルが、昨年と比べると格段に減少しています。担任から話を聞いていると、これまですぐに感情的になり言い合いになっていた場面でも、「じゃあ、どうする?」と話し合おうとするが増えているようです。また、言い争いになった場面でも、周りにいる子が、「何かあったの?」「先生に話聞いてもらおう」ともちかけ、互いの言い分を伝え合って折り合いをつけることでトラブルを解決しようとしていることも分かりました。相手のことを思いやって行動する子供たちが増えていることは、本当にうれしいことです。学校教育目標の「にこにこ」に一歩近付いたのではないかと感じています。

そうなると、「いきいき」はどうやって近付けていくかが、達成すべき次の課題になってきます。私は、「主体的に行動する」に鍵があると考えています。誰しも、人から指図されてやらされるのは、気分がよいものではありません。苦労しても、自分たちで知恵を出し合って考え、協力してつくり上げた運動会の応援合戦や学習発表会、学級の係活動等、子供たちが主体的に取り組んでいる時の表情はとてもいきいきしています。やる気がみなぎり、仲間と声をかけ合いながら協力していました。そんな、素敵なお姿をもっと増やすためには、どのように子供たちと関わっていけばよいのか。それが、我々教職員に課せられた課題だと思っています。今年度の取組を踏まえ、次年度、「いきいき にこにこ 八尾っ子」に、また一歩近付けるように、職員一同、力を合わせて取り組んでいく所存です。

最後になりましたが、1年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただいた地域の皆様、並びに保護者の皆様に心より感謝申し上げます。次年度も引き続き、よろしくお願ひします。

### 令和7年 4月の主な予定

8日（火）着任式、始業式	17日（木）6年全国学力・学習状況調査
9日（水）入学式	特・1・2年聴力検査
10日（木）給食開始（2年～）午後放課 3～6年学力調査（国理）	代表委員会
11日（金）3～6年学力調査（算社） 3・4年発育視力測定	18日（金）学習参観、学年懇談会、龍蟠会総会 引渡し訓練
5・6年聴力検査 給食開始（1年）	22日（火）3・4年交通安全教室（講習）
14日（月）発育視力測定（特・1・2年）	24日（木）個別懇談会（希望制）
15日（火）5・6年発育視力測定 5・6年委員会活動	25日（金）個別懇談会（希望制） 1～4年交通安全教室（実技）
16日（水）3・4年聴力検査	30日（水）八尾っ子検定 5・6年委員会活動



## ～1年生 国語科「いいこといっぱい 1年生」～

「緊張する…！」「どうしよう…！」「あ、お家の人、もう来てる！」「やったあ！」

3学期の学習参観で、1年生は、国語科の「いいこといっぱい 1年生」の学習から、自分がんぱりや成長を発表しました。一人で、あるいはグループでと、発表の仕方はそれぞれの学級で異なっていたものの、お家の方が来てくださること、自分の発表を見てもらえることを、子供たちはとても喜んでいました。緊張しながらも、お家の方にしっかりと向かい、一生懸命に伝えたいことを伝えることができました。



## ～2年生 生活科「わたし たんけん」～

2年生は生活科「わたくしたんけん」の学習で、自分の1年間を振り返る活動を行いました。この学習を通して、改めて自分や友達の成長に気付くことができました。学習参観では、自分の成長の中から、特に伝えたいことを選んで発表しました。発表後に書いた友達へのメッセージカードには「筆算が難しくても、最後まであきらめずにがんばっていたことが分かったよ」「二重跳びが39回もできるなんて真似できないよ」「伝えたいことを堂々と発表していてすごかったよ」など、互いのよさやがんばりを認めるコメントがたくさんあり、友達のコメントを見てさらに自信をもつことができました。

